

SUPER
FORMULA

STAGE

superformula.net

INDEX

2017 出場ドライバー紹介 ②③

本山 哲アンバサダーが語る
今大会の見どころ&コースガイド ②③

TECHNICAL COLUMN ④

リア流 SUPER FORMULA 調理法 ④

インフォメーション ④

Published JAPAN RACE PROMOTION
2-3-25 Kudan-minami Chiyoda-ku Tokyo

本紙への広告掲載のお問い合わせは —
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
☎03-3237-0131
http://superformula.net

JRP
Japan Race Promotion Inc.

INTERVIEW NO.1

TEAM MUGEN ドライバー

ピエール ガスリー

Pierre Gasly #15

8歳でカートレースを始めて、わずか13年。今年、鳴り物入りで全日本スーパーフォーミュラ選手権にデビューするピエール・ガスリーは、近い将来F1ドライバーになることを囑望されている。昨年は、弱冠20歳でGP2王者となり、彗星のように現れた“シンデレラボーイ”とも見られている。しかし、彼のキャリアは短くとも濃密。実際には、必死で崖をよじ登ってきたからこそ今があると言っている。

フランスはルーアン出身のピエールは、5人兄弟の末っ子。両親ともに再婚で、長兄とは18歳も年が離れている。その兄たちが趣味でやっていたカートに一度乗せてもらったことで、6歳のピエールは恋に落ちた。“自分のカートが欲しい”。その夢が実現したのが8歳。翌年にはレースに出始める。だが、他のスポーツ以上にモータースポーツにはお金がかかる。ピエールは才能が認められて、1~2シーズン後にはフランスのナショナルチームのメンバーになったものの、両親の金銭的な援助は必要だった。ところが当時、両親が経営していたインテリア・コーディネート会社は、業績が悪化。時には税金の支払いにも窮するほどだった。それでも両親はピエールのために何とか資金を捻出。活動を続けさせた。

モータースポーツを志す少年の中には大金持ちの子息もいる。そうしたリッチな少年たちはカートでも常に最高の道具を使い、練習も好きなだけ

できる。しかし、ピエールにそんな余裕はない。一番安い値段でシャシーを提供してくれたカートメーカーと契約し、練習時間も限られていた。だからリッチな少年たちを羨ましく思うこともあった。だが、時には夜中までスポンサー活動をして、必死に支えてくれる両親の姿を見て、「父も母も戦っているんだから僕も戦わなければいけない」と勇気ももらう。「練習量が限られているんだから、その中で最上の結果を引き出さなければならない」というスタイルを身に付けたのも、このカート時代のことだった。

その後、4輪レースにステップアップしたピエールは、フランスF4に参戦。この時の活躍が認められ、レッドブルの契約を一旦は勝ち取る。金銭的な援助を受けられるという契約ではなかったが、将来レッドブル・ジュニアにセレクトされるためにも重要な一歩だった。ところが翌年のフォーミュラ・ルノー2.0での成績が振るわない。ユ

ーロカップで総合10位に終わり、わずか1年でレッドブルから契約解除を言い渡された。16歳のピエールは、その通達に号泣したという。

翌年も決して楽ではなかった。シリーズ前半戦は、スイス人の実業家がスポンサーしてくれ、2年目のフォーミュラ・ルノー2.0に参戦。だが、シーズンが折り返したところで、そのスポンサーと連絡が取れなくなり、後半戦を戦うための資金がなくなった。その時点でピエールが選手権をリードしていたため、チームは何とか台所事情をやり繰り。チームのサポートに応じて、ピエールは見事タイトル獲得を果たす。その陰で、フランスのモータースポーツ連盟会長もレッドブルに働きかけを行っており、ピエールは一旦諦めたレッドブル・ジュニアのメンバーに選ばれた。そこから、フォーミュラ・ルノー3.5、GP2とステップアップ。昨年はフル参戦2年目で、タイトル獲得を果たした。シーズン中に見舞われた交通事故の影響があった

にも関わらずだ。だが、タイトル決定間近になって、今季F1昇格の道を絶たれる。加入が有力視されていたトロ・ロツォがダニール・クビアトとの契約延長を決めたためだ。16歳の時に号泣したピエールだが、この時は“なぜ僕のタイトル獲得まで待ってくれないんだ!!”と腹を立てた。

そこから探したのが、F1昇格を待つ間に参戦すべき最高の選択肢。それこそがヨーロッパからは遠く離れた日本のスーパーフォーミュラだった。テストから好タイムを連発しているピエールは、すでに“短い時間で最高のパフォーマンスを引き出す術”を見せつけている。「全員がプロフェッショナルで、経験豊富なドライバーが多いこのシリーズで、そう簡単に結果が出せるとは思っていない」と、開幕戦に向けてはあくまでも控え目。だが、その瞳の奥には静かな闘志が燃えている。

※インタビュー全編は後日公式ホームページに掲載いたします。

Series Partner **HONDA TOYOTA**

Series Supporter **YOKOHAMA**

Promotion Partner **HITACHI**
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
Action Cam

Asahi
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ

J SPORTS

2017

全日本スーパーフォーミュラ選手権 エントリーリスト

ENTRY LIST

Twitter Facebook Instagram

★は今季スーパーフォーミュラ初参戦

※写真は開幕戦前のテスト時のものです。実際のカラーリングと異なる場合があります。

P.MU/CERUMO・INGING

ピーエムユーセルモインギング

1 国本雄資

Yuji KUNIMOTO

1990年9月12日生 / 神奈川県 日本



P.MU/CERUMO・INGING SF14

2009年全日本F3に参戦し、翌年チャンピオンに輝く。2011年からスーパーフォーミュラを戦い、昨年チャンピオンに輝いた。
<http://yujikunimoto.com>



石浦宏明

Hiroaki ISHIURA

1981年4月23日生 / 東京都 日本



P.MU/CERUMO・INGING SF14

カート、ジュニアフォーミュラと進み、2006年にF3に。2008年にフォーミュラ・ニッポンに参戦。2015年に初優勝し、この年の王者となった。
<https://ameblo.jp/ishiura/>

2

SUNOCO TEAM LEMANS

スノコチームルマン

7 フェリックス・ローゼンクヴィスト

Felix ROSENQVIST

1991年11月7日 / スウェーデン 瑞典



SUNOCO TEAM LEMANS SF14

2015年のヨーロッパF3選手権チャンピオンで、マカオGPでも優勝。今年スーパーフォーミュラへ参戦が決まった。フォーミュラEにも参戦中。
<http://www.felixracing.se/?lang=en>



大嶋和也

Kazuya OSHIMA

1987年4月30日 / 群馬県 日本

8



SUNOCO TEAM LEMANS SF14

2007年全日本F3とSUPER GTのGT300クラスで王座を獲得。2009年から4年間フォーミュラ・ニッポンを戦い、今年久しぶりに復帰した。
https://twitter.com/oshima_kazuya?lang=ja

REAL RACING

リアルレーシング

10 塚越広大

Koudai TSUKAKOSHI

1986年11月20日 / 栃木県 日本



REAL SF14

日本とヨーロッパでF3を戦い、2009年にフォーミュラ・ニッポンにデビュー。2012年にチャンピオン争いを演じ、僅かの差で涙をのんだ。
<http://www.tsukakoshikoudai.net/>



KONDO RACING

コンドーレーシング

3 ニック・キャシディ

Nick CASSIDY

1994年8月19日生 / ニュージーランド ニュージーランド



FUJIXRAFFINEE KONDO SF14

母国ニュージーランドでレース活動し、2015年全日本F3に参戦し、いきなりチャンピオンを獲得。今年からスーパーフォーミュラで戦う。
https://twitter.com/nickcassidy_?lang=ja



山下健太

Kenta YAMASHITA

1995年8月3日生 / 千葉県 日本

4



FUJIXRAFFINEE KONDO SF14

2014年からF3を戦い、昨年チャンピオンを獲得。今年スーパーフォーミュラにステップアップを果たした。21歳と日本人選手の中で一番若い。
<http://kentayamashita.jp>

TEAM MUGEN

チームムゲン

15 ピエール・ガスリー

Pierre GASLY

1996年2月7日 / フランス フランス



TEAM MUGEN SF14

昨年のGP2チャンピオンで、レッドブルの育成ドライバーとしてF1へのデビューが噂されたが、今年スーパーフォーミュラへ参戦が決まった。
<https://www.pierregasly.com/fr.html>



山本尚貴

Naoki YAMAMOTO

1988年7月11日 / 栃木県 日本

16



TEAM MUGEN SF14

2010年フォーミュラ・ニッポンに進み、ルーキー・オブ・ザ・イヤー(新人賞)に輝く。2013年にホンダ勢として4年ぶりのチャンピオン獲得。
<http://www.naoki-yamamoto.com>

ここに注目!

第1戦 鈴鹿の見どころ

まずは今季スペックのタイヤの使い方

いよいよ今季の全日本スーパーフォーミュラ選手権が鈴鹿サーキットで開幕する。鈴鹿では昨年の11月下旬、今年の3月上旬にテストが行われ、各チームが今季への準備を進めてきた。

その中で注目したいのは横浜ゴムが供給する2017スペックのタイヤ。昨年よりも構造がソフトになったというこのタイヤをいかにうまく使いこなせるかが、結果を大きく左右することになる。今年に入って鈴鹿と富士で行われたテストでは、

昨年ニュータイヤでの予選アタックに若干苦勞していたVANTELIN TEAM TOM'Sが速さを発揮。両テストとも1-2位で終えているが、開幕戦でも同様の速さを見せるのか。あるいは昨年の予選で常にPP争いに絡んできたDOCOMO TEAM DANDELION RACINGやP.MU/CERUMO・INGINGが強いのか。また今年のテストで驚速ぶりを見せつけた昨年のGP2チャンピオンのピエール・ガスリーにも注目だ。初挑戦のノックア

ウト方式の予選をどう戦うのかも焦点となるだろう。もちろん、ニック・キャシディや山下健太、フェリックス・ローゼンクヴィスト、ヤン・マーデンボローなどのルーキーにも期待したい。

今回のレースは距離が少し短く203km。満タンでスタートすれば無給油で走り切れるかもしれない。しかしドライコンディションの場合には1本以上のタイヤ交換が義務付けられているため、各チームがどのような戦略を取るのかもポイント。タイヤ交換を2本に留めるのか4本すべてか。あるいは軽めのタンクでスタートして給油を行うのか。グリッド後方からのスタートであれば、1周

を終えてすぐピットに入るドライバーも出てくるだろう。逆にトップ集団はライバルの動きを見るはず。そこで不確定要素となるのがタイヤの持ち。テストでは完全なレースシミュレーションまでできていないチームはない。また温かい季節になり、どれぐらいの距離で今年用スペックタイヤのグリップダウンが進むのかということもまだデータがない状況だ。日曜日のフリー走行で各チームは満タンでの確認作業をし、そこからレース戦略を決定することになるだろう。決勝ではスタートも注目だが、タイヤがまだ温まり切っていない序盤での攻防、ピット作戦のタイミングなども重要だ。

KCMG

ケーシーエムジー

18 小林可夢偉
Kamui KOBAYASHI
1986年9月13日 / 兵庫県 日本



KCMG Elyse SF14

F1で活躍し、2015年にスーパーフォーミュラへ。2年間チーム ルマンで活躍してきたが今年チームを移籍し、初優勝を狙う。
<http://www.kamui-kobayashi.com/>



ITOCU ENEX TEAM IMPUL

イトウチュウエネクス チーム インパル

19 関口雄飛
Yuhi SEKIGUCHI
1987年12月29日 / 東京都 日本



ITOCU ENEX TEAM IMPUL SF14

2011年全日本F3チャンピオンを獲得後、長年GTレースで活躍してきたが昨年スーパーフォーミュラにデビューし、2勝を挙げる活躍をした。
<https://twitter.com/yuhisekiguchi>



ヤン・マーデンボロー ★
Jann MARDENBOROUGH
1991年9月9日 / イギリス 英国



ITOCU ENEX TEAM IMPUL SF14

ドライビングゲームソフトの選手育成プログラムから選手となった異色の経歴。昨年全日本F3で2位になり、今年スーパーフォーミュラへ。
<https://twitter.com/jannthaman>

VANTELIN TEAM TOM'S

バンテリン チーム トムス

36 アンドレ・ロッテラー
Andre LOTTERER
1981年11月19日 / ドイツ 德国



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

ドイツF3などを経て、2003年からフォーミュラ・ニッポンに参戦、11年に王者となる。2011、12、14年とル・マン24時間レースで優勝している。
https://twitter.com/andre_lotterer?lang=ja



中嶋一貴
Kazuki NAKAJIMA
1985年1月11日 / 愛知県 日本



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

2008、09年とF1にフル参戦、11年フォーミュラ・ニッポンへ。12、14年に王座を獲得。父は元F1ドライバーでナカジマレーシングの中嶋悟監督。
<http://www.kazuki-nakajima.com/>

DOCOMO TEAM DANDELION RACING

ドコモチームダンディライアンレーシング

40 野尻智紀
Tomoki NOJIRI
1989年9月15日 / 茨城県 日本



DOCOMO DANDELION M40S SF14

カートからジュニアフォーミュラ、F3と進み、2014年にスーパーフォーミュラへ。参戦1年目で優勝し、俄然注目される存在になった。
https://twitter.com/tomoki_nojiri



伊沢拓也
Takuya IZAWA
1984年6月1日 / 東京都 日本



DOCOMO DANDELION M41Y SF14

2008年に全日本F3からフォーミュラ・ニッポンへ。2012年にはチャンピオンを争った。2014年にGP2に参戦し、2015年から日本に復帰した。
<http://www.takuya-izawa.com/>

B-Max Racing team

ビーマックスレーシング チーム

50 小暮卓史
Takashi KOGURE
1980年8月1日 / 群馬県 日本



B-Max Racing team SF14

全日本F3チャンピオン獲得後の2003年からフォーミュラ・ニッポンに参戦している。ロッテラー選手とともに今年で15年目となるベテランだ。
<http://www.takashi-kogure.com/>



TCS NAKAJIMA RACING

ティーシーエス・ナカジマレーシング

64 中嶋大祐
Daisuke NAKAJIMA
1989年1月29日 / 愛知県 日本



TCS NAKAJIMA RACING SF14

日本とイギリスのF3を経て、2011年フォーミュラ・ニッポンに。チームの中嶋悟監督は父、中嶋一貴は兄と、親子・兄弟で活躍中。
<http://www.daisuke-nakajima.com/>

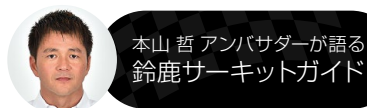


ナレイン・カーティケヤン
Narain KARTHIKEYAN
1977年1月14日 / インド 印度



TCS NAKAJIMA RACING SF14

ヨーロッパでレース活動し、2001年にフォーミュラ・ニッポンに参戦。その後2005年、11、12年はF1で戦い、2014年から再び日本で活動。
<https://twitter.com/narainracing?lang=ja>



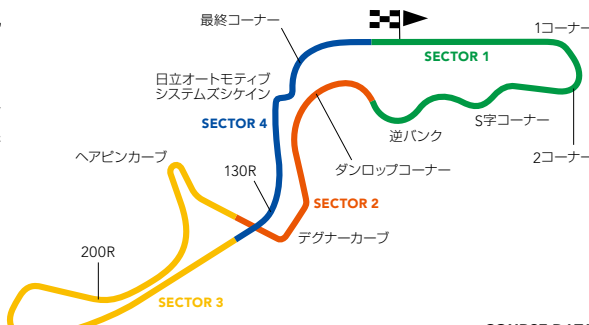
本山 哲 アンバサダーが語る
鈴鹿サーキットガイド

スピード感を味わえる所で見よう

一番のポイントはS字。スーパーフォーミュラの魅力である“スピード”が感じられます。さらにドライバーごとに違うアクセルワークやライン取りが見られて面白いと思いま

す。場所はS字の中でも2つ目と3つ目の間で、スタンドの上の方がオススメ。各ドライバーの特徴やクルマのセットアップの仕上がり具合が結構分かるはずですよ。ステアリングの修正が少ないクルマは速いですし、決まっていないクルマは挙動が敏感で危なっかしく見えます。アクセルを踏んでからのリヤの動きに注目すると分かりやすいですよ。また、立ち上がり方向を見ればステアリング操作も見え

ます。あとは2コーナー近くのスタンドで見ると1コーナーからのスピードも魅力。シケインも低速コーナーからのトラクションが見えますし、鈴鹿で一番のオーバーテイクポイントです。もちろんグランドスタンドもいいですよ。スリップストリームからのオーバーテイクやピット作業も見えますよね。大型モニターがあって、目の前以外の場所で起きていることも分かりやすいと思いますよ。



過去3年の結果 (優勝者 | PP)

2016	山本尚貴 (TEAM 無敵)	山本尚貴 (TEAM 無敵)	2015	A. ロッテラー (PETRONAS TEAM TOM'S)	山本尚貴 (TEAM 無敵)	2014	L. デュバル (KIGNUS SUNOCO Team LeMans)	A. ロッテラー (PETRONAS TEAM TOM'S)
------	----------------	----------------	------	--------------------------------	----------------	------	-------------------------------------	--------------------------------

COURSE DATA

全長: 5.807km
コースレコード: 1'36.966 A. ロッテラー (PETRONAS TOM'S SF14) 2014.4.12

今年のSF14はエンジン性能アップでさらに速く!

スーパーフォーミュラへのNRE（日本・レース・エンジン）導入4年目となる2017年は、NREにとってさらなるステップアップの年になります。

NREの基本コンセプトである「燃料一定で熱効率向上による性能向上」は毎年進められてきました。熱効率向上のために基本的には「圧縮比を上げる」、「沢山空気を入れてリーンにして理想的な燃料混合比に近づける」という2つの方法があります。たくさん空気を入れるという点においては開発が進んで、規則で決められた共通スペック（トヨタ、ホンダとも同じスペック）の限界が見えてきました。それに伴い変更点が3つあります。

①ターボの大型化



永井洋治（ながいようじ）：1982年にトヨタ自動車入社。90年よりさまざまなカテゴリーのモータースポーツエンジンの開発を担当。現在はトヨタのNREプロジェクトリーダーとして指揮を執っている。

昨年までのターボチャージャーではエンジンの要求する空気量に対して吸気できる量が限界に近くなってきており、さらなる性能向上の足かせになっていました。またオーバーテイクシステム（OTS）作動時はさらに厳しく、特に標高の高い富士スピードウェイとかはベース状態でターボの負荷が高いためOTSが十分に機能できない状況がありました。

図1のようにコンプレッサーマップ（ターボが性能を発揮する領域）を大きくしたターボを導入してこれらを解消し、開発マージンを広げること、OTSが十分に機能するようにしています。富士の合同テストでOTSで最高速の伸びを7~8km/h確認しており、従来以上のオーバーテイクに期待が持てます。ターボの大型化でレスポンスの低下が考えられますが、この対策はこのあとの③の項で説明します。

②サイドポンツーン吸気口拡大

ターボだけでなく、ターボに空気を取り入

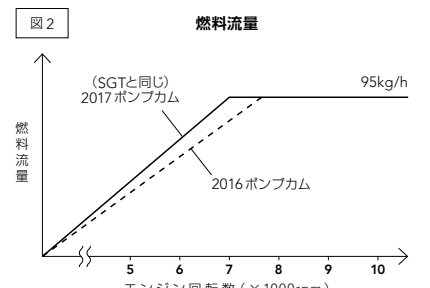
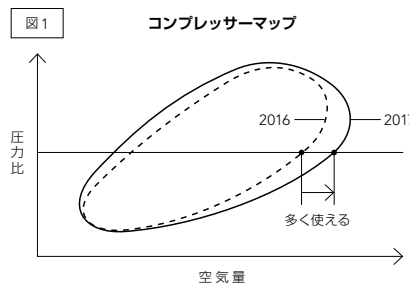
れるサイドポンツーンにあった吸気取入口口（別名「鯉の口」）も要求される空気量の限界に来ていたため、ターボ大型化と併せて口径アップを行いました。また形状もよりラム圧のかかる形状に変更し、ターボの仕事を軽減させつつ性能向上にもつなげています。

③燃料流量変更

NREで使える燃料流量は燃料リストラクターで決められた上限量と燃料ポンプを動作させるポンプカムの形で決まります。低回転側がポンプカム、高回転側が燃料リストラクターで決まるともいえます。図2のように2017年からはポンプカムをSUPER GTと同じにしました。目的の一つは「①ターボの大

型化」でのレスポンス低下を補うためです。この低回転エリアの性能向上は、鈴鹿のヘアピンの2速の立ち上がりなど低速コーナーで効果が大きいと思われます。

ここまではホンダ、トヨタ共通の向上点で、SF14は全体に速くなります。ここからは先は各メーカーが、より空気を入れて、しっかり燃焼させ、さらにノッキング（異常燃焼）を抑えながら圧縮比を上げ性能をアップさせる。そして壊れないエンジンでライバルにアドバンテージを築く。と、文章では2行で終わる内容を実現するために、難しくも楽しい仕事が日々進んでいます。開幕戦での両エンジンの仕上がりが楽しみです。



春、出会いと別れの交差点。「今年の担任は厳しいことで有名なあの先生」「デキると噂のあの人が同じに部署にやってきた」……新たな環境にドキドキが止まらない季節です。

いよいよ開幕戦を迎えるスーパーフォーミュラ（SF）でも、気になる出会いと別れがたくさん！今までの所属チームに別れを告げ新しい環境で今シーズンを迎える選手や、大注目の「海外留学生」を新たに迎え入れるチーム。キニナル変化がいっぱい！

わたしがまずキニナルのは、新たになるエンジニアとドライバーのコンビ。妥

協ないマシン作りのためには、エンジニアとドライバーの相性・コミュニケーションって大事だと思うんです。ドライバーだけでなく、エンジニアの移籍もある今シーズン。チャンピオンメーカーのあ

高まっているのは、国内だけでなく海外でも活躍する選手が多数参戦しているから。今シーズンはその中でも、外国人選手がオフシーズンのテストでも勢いを見せていた気がします。しかも今シーズン

モイケメンばかり！ 困ります！（笑）。でもSFは日本のモータースポーツ!! そこはやっぱり、日本人選手に日本人魂見せて欲しい！

それぞれのチームが新たな体制で新たなシーズンをどう戦うのか、妄想してはドキドキしちゃいますよね。そのドキドキを、サーキットでの生の音と空気をス

パイプに今シーズンも沢山召し上がれ。

選手に日本人魂見せて欲しい！



リア流 SUPER FORMULA 調理法

PROFILE
水村リア（みずむらりあ）：スーパーフォーミュラ・オフィシャルステージのMC担当。外国人ドライバーからレースクイーンまで幅広い対応力でステージを盛り上げる！

のエンジニアが、今年はこのルーキーとあのチームで!? 裏ボスのレースのキーマンとなるエンジニアさんの動きもチェックです。そして今シーズンも注目の集まる外国人選手達。SFが海外でも年々注目度が



TV放映／映像配信

BSフジ 決勝戦中継 『2017スーパーフォーミュラ第1戦鈴鹿』



番組では現地の臨場感をそのままお届けします。オフィシャルコメントーター・ピエール北川と、アンバサダー本山哲の場内実況がサーキットの臨場感をリアルに伝え、ピットからはレース解説に定評のある松田次生と、今シーズンから初参戦の東（ひがし）美樹が、現場の緊張感をレポートします。
○放送時間：4月23日（日）午後1時35分～2時55分

BSフジ 『スーパーフォーミュラ GO ON!』



番組では、注目のレース関係者や豪華ゲストを招き「人」をテーマにトークを展開、スーパーフォーミュラの魅力を伝えます。MCは小林可夢偉と中嶋大祐の現役ドライバー2人。その2人をピエール北川がサポートし、さらに乃木坂46の樋口日奈がナレーターとして華を添えます。加えて、レースダイジェストコーナーでは、ピットリポーター松田次生がトップドライバーならではの徹底解説をお届けし、東美樹が現地でアシストをします。
○放送時間：第2回 5月13日（日）午後11時00分～11時55分

J SPORTS



全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組もO.A.します。
○放送時間：4月22日（土）午後1時50分～ 予選生中継 J SPORTS 3
4月23日（日）午後1時10分～ 決勝生中継 J SPORTS 3

GYAO!



大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

YouTube



スーパーフォーミュラ予選ならびに決勝の映像をダイジェスト版にて当日配信。詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>) でご確認ください。
[superformulavideo-YouTube](https://www.youtube.com/user/superformulavideo)
<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

インターネット／SNS

スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト
<http://superformula.net>
スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook
<https://www.facebook.com/superformula.official>
スーパーフォーミュラオフィシャルtwitter
https://twitter.com/super_formula



TIME SCHEDULE タイムスケジュール

RACE レース
4月22日(土) 予選日
8:50 - 9:20 F3 第4戦/第5戦 公式予選
9:35 - 9:55 N-ONE 公式予選
10:10 - 11:10 SUPER FORMULA フリー走行
11:20 - 12:00 ピットウォーク
12:20 - 12:55 JSB1000 公式予選 A Gr.
13:05 - 13:40 JSB1000 公式予選 B Gr.
14:00 - 14:20 SUPER FORMULA公式予選(ノックアウト方式)(Q1)
14:30 - 14:37 (Q2)
14:47 - 14:54 (Q3)
15:20 - N-ONE 決勝レース [6Laps]
16:30 - F3 第4戦 決勝レース [12Laps]
17:20 - 17:50 キッズピットウォーク
4月23日(日) 決勝日
8:00 - 8:30 JSB1000 ウォームアップ走行
08:50 - 09:20 SUPER FORMULA フリー走行
09:20 - SUPER FORMULA スタート練習
10:15 - JSB1000 鈴鹿200km耐久 決勝レース [35Laps]
11:55 - 12:35 ピットウォーク
13:40 - SUPER FORMULA 決勝レース [35Laps]
16:05 - F3 第5戦 決勝レース [17Laps]

EVENT イベント
4月22日(土)
10:10 - 11:10 スーパーフォーミュラ フリー走行 同時放映
11:40 - 11:55 スーパーフォーミュラ 予選直前! トークショー ゲスト: 松田次生 MC: 水村リア
12:00 - 12:20 スーパーフォーミュラ GO ON! トークショー ゲスト: 小林可夢偉 選手、中嶋大祐 選手 MC: ピエール北川
14:00 - 15:00 スーパーフォーミュラ ノックアウト予選 同時放映
15:35 - 16:05 スーパーフォーミュラ 監督トークショー ゲスト: 第1部(15分) 立川監督、第2部 村岡監督 MC: 水村リア
16:10 - 16:30 スーパーフォーミュラ ドライバートークショー ゲスト: 山本尚貴 選手、野尻智紀 選手、国本雄貴 選手、中嶋一貴 選手 MC: 辻野ヒロシ、水村リア
16:35 - 17:05 レースクイーンステージ MC: 水村リア
17:15 - 17:45 テクノロジーラボラトリー 両角岳彦、浅見理美 スペシャルゲスト
4月23日(日)
8:00 - 8:40 レースクイーンステージ MC: 水村リア
8:50 - 9:25 スーパーフォーミュラ フリー走行 同時放映
10:35 - 10:55 スーパーフォーミュラ ルーキードライバートークショー ゲスト: ピエール・ガスリー 選手、山下健太 選手 MC: ピエール北川
11:55 - 12:10 スーパーフォーミュラ 決勝直前! トークショー ゲスト: 本山哲 MC: 水村リア
13:25 - 15:15 スーパーフォーミュラ 決勝 同時放映
17:00 - 17:30 テクノロジーラボラトリー 両角岳彦、浅見理美 スペシャルゲスト

*スケジュール、内容等は予告なく変更、中止になる場合があります。

オフィシャルファンクラブ CLUB F 新規会員受付中!

☆会員特典

- 年間シリーズパドックパスが購入可能!
- ラウンジパスが特別価格で購入可能! (限定数先着販売)
- ゲストパスが特別価格で購入可能! (ピットウォークやグリッド、パドックにも入場できるファンクラブオリジナルチケット)
- 前売観戦券が特別価格で購入可能! (ファンクラブで前売観戦券を購入すると購入枚数分の決勝日ピットウォーク券をプレゼント!)
- 会員専用オフィシャル・ウェブ・ショップで商品などが30%OFFで購入できる!

詳しくはSUPER FORMULA公式ウェブサイト内オフィシャルファンクラブ「CLUB F」バナーをクリック
<http://superformula.net/sf/apf/ap/NList02.dll/?No=NS022554>

全戦のライブタイミングをはじめ、SFをより楽しめる情報満載!!

SUPER FORMULA 公式アプリ

各セッションのライブタイミングはもちろん、各車両の位置情報、セクターベストタイムなど、SUPER FORMULAファンだけでなく、モータースポーツファンなら抑えておきたいタイム情報が全て揃った便利なもの。これがあればレースがより楽しめる!!

*iOS用アプリはiPhone、iPadの両方に対応。また、アプリで配信される情報はパソコンのウェブブラウザでも閲覧可能です。
<http://superformula.raceline.jp/>

・アプリのダウンロード
価格 無料
動作環境 iOS用 iOS 8.0以降。iPhone、iPad、およびiPad touchに対応
Android用 Android 4.1以降

